

大会名 Competition	第31回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-115	Year Month Day Time 2018 年 5 月 5 日 15 : 18
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会  
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB
明	成	能代工業
	76	54
	○	●
	( 31 1st 9 )	
	( 14 2nd 19 )	
	( 13 3rd 14 )	
	( 18 4th 12 )	
	E P	

主審:Crew chief  
小野寺 浩 秋田  
副審:Umpire  
水木順仁 秋田  
中道凌平 秋田  
テーブルオフィシャル:Table officials  
能代高女子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3 P	2 P	FT	F
4	✓	古川 空音	CAP	1	0	0	1	0	4	×	遠田 貴大	CAP	9	0	4	1	1
5	×	川村 亮汰		14	0	5	4	3	5	×	新田 由直		6	0	3	0	3
6	×	越田 大翔		13	1	5	0	3	6	✓	牧野 湧		8	0	3	2	1
7	×	木村 拓郎		10	0	2	6	1	7	✓	齋藤 創		2	0	1	0	1
8	✓	山内 シャリフ和哉		0	0	0	0	0	8	×	高橋 日向		2	0	1	0	2
9	✓	井上 耀		0	0	0	0	1	9	×	佐藤 侃		0	0	0	0	0
10	×	田中 裕也		31	3	7	8	1	10	×	秋元 淳之介		2	0	0	2	2
11	✓	浅原 紳介		0	0	0	0	1	11	✓	須藤 陸		12	2	1	4	3
12		清水 晃		-	-	-	-	0	12	✓	伊東 翼		10	2	1	2	4
13	✓	喜多 陸登		0	0	0	0	0	13	✓	中山 玄己		3	1	0	0	1
14	✓	一戸 啓吾		3	1	0	0	0	14		上村 悠真		-	-	-	-	0
15	✓	菱倉 崇人		0	0	0	0	0	15	✓	佐々木 駿汰		0	0	0	0	1
16		小川 祥英		-	-	-	-	0	16		上村 大佐		-	-	-	-	0
17	×	加藤 陸		4	0	2	0	2	17		森山 陽向		-	-	-	-	0
18		河合 海輝		-	-	-	-	0	18		成澤 頼		-	-	-	-	0
コーチ		佐藤 久夫						0	コーチ		杉沢 政						0
コーチ		高橋 陽介						0	コーチ		小野 秀二						0
合計				76	5	21	19	12	合計				54	5	14	11	19

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3ポイントシュート 2P:2ポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

### Score ranking[Team]

1	31	40.79%	田中 裕也
2	14	18.42%	川村 亮汰
3	13	17.11%	越田 大翔

1	12	22.22%	須藤 陸
2	10	18.52%	伊東 翼
3	9	16.67%	遠田 貴大

### Score ranking[Game]

1	31	田中 裕也	明	成	2	14	川村 亮汰	明	成	3	13	越田 大翔	明	成
---	----	-------	---	---	---	----	-------	---	---	---	----	-------	---	---

1Q、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。明成は立ち上がりから#10田中の3P、#5川村の速攻で流れを掴む。ディフェンスの足もよく動き、能代工のドライブを封じる。能代工は明成の堅いディフェンスを崩せず、開始から3分間得点できずにいたが、#13中山の3Pでようやく初得点。ここから巻き返したいところだったが、明成ディフェンスを攻略できない時間帯が続く。一方の明成は#10田中や#6越田の速攻、#17加藤のインサイドなどで着実に点差を広げ、31-9とリードして1Qを終える。

2Q、流れを変えたい能代工は、#5新田のインサイド、#11須藤の3Pで反撃する。明成も#10田中の3Pや#6越田の速攻でリードを保つ。能代工は厳しいマークを受けながらも#4遠田や#6牧野がジャンプシュートを決めると、残り3:54のタイムアウト後から明成に得点を許さない粘り強いディフェンスを見せる。45-28と、明成がリードしたまま前半を終えるが、能代工もようやくペースをつかみ始めた。

3Q、一気に点差を縮めたい能代工だが、流れの中からシュートがなかなか決まらない。一方の明成は#5川村の速攻や#10田中のジャンプシュートでさらにリードを広げる。能代工は#11須藤の3P、#4遠田のスティールからの速攻、#12伊東の3Pなどで応戦するも、58-42と明成リードのまま勝負は最終ピリオドへ。

4Q、能代工は#5新田がインサイドで得点して反撃に転じるが、明成は#10田中の3Pで流れを渡さない。なんとか明成ディフェンスをこじ開けたい能代工は、#6牧野がジャンプシュートやドライブで存在感を見せるものの、流れを引き寄せられるには至らない。明成は#5川村のドライブや#17加藤のインサイドなどで着実に加点し、76-54で勝利した。明成の勝負所でのシュート力やディフェンス力が光った最終戦となった。